



「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第121号をお届けします。

### 【1】 2月AP研開催報告

2017年2月のAP研は、16(木)・17(金)に、栃木県宇都宮市の栃木県総合文化センターで開催致しました。2月研究会では、例年この月の恒例となった”企業特集オーガナイズドセッション”を開催しました。業務を通じた研究開発成果を発表して頂き、それに対する活発な議論が行われました。また、チュートリアル講演として、KDDI総合研究所の中野雅之様より、「無線セル品質を改善する基地局アンテナとセル設計」というタイトルのご講演を実施頂きました。移動通信基地局アンテナおよびエリア設計の開発の歴史とセル・セクタ間干渉低減のための様々な技術について説明頂きました。とても興味深い内容でした。



中野雅之様

### 【2】 MJWRT2017(Malaysia-Japan Workshop on Radio Technologies 2017)開催報告

1/26(木)・27(金)に、マレーシア・クアラルンプールのUniversiti Teknologi Malaysia(UTM)においてMJWRT 2017を開催致しました。MJWRTはマレーシアの関連分野の研究者とAP研との共同で開催しているAP研の第2種研究会であり、今回で2回目の会議開催です。マレーシア・日本よりそれぞれ51名および22名の参加がありました。会議では、新潟大西森健太郎先生・NTTドコモ今井哲朗様(お二人ともAP研幹事)とUTMのTharek Abd. Rahman先生による3件のチュートリアルワークショップが行われました。それぞれの講演終了後には熱心な聴講者からの多数の質問が寄せられ、熱い質疑応答が行われました。また、33件の一般講演が行われ、その中から3名の学生にStudent Paper Awardが授与されました。MJWRTの企画・開催には、現在UTMにて教鞭をとられている山田吉英先生に多大なご尽力・ご貢献を頂いています。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。今回のMJWRT2017も成功裏に終えることができました。



MJWRT2017 参加の皆様

### 【3】 AWAP2017(2017 Asian Workshop on Antennas and Propagation)開催案内

2月号お知らせでもお伝え致しましたが、AP研2種研として開催するAWAP2017について再度ご案内します。AWAPは日本・韓国・タイ3か国合同で開催するアンテナ・伝搬関連のワークショップであり、今回は国内・札幌での開催です。多くの皆様のご発表・ご参加をお待ちしています。詳細はAP研HPをご参照下さい。梅雨

シーズンを逃れ、さわやかな北海道で会いましょう!!

- 会期: 6/28(水)~30(金)      ■ 会場: 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟
- 締切: 発表申込2017/4/30・原稿提出2017/5/31

#### 【4】アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ「アンテナ伝搬基礎講座(第13回)」開催案内

(去年と同じ掛け声ですが)今年もアンテナ・伝搬基礎講座を開催します!! これからアンテナの研究を始めるあなた、アンテナ伝搬の基礎である電磁気は昔習ったけどもう忘れてしまったというあなた、アンテナ(または伝搬)を研究するのに関連知識となる伝搬(同アンテナ)の基礎についても知りたいというあなた、そんな皆さんに最適な講義です。朝から晩まで丸二日間の講義でみっちり、AP分野の基礎を網羅的に学べます。講師の先生方は第一人者の方ばかりです。AP研や学会論文でよく目にする著名な先生方が直接講義をして下さるので、役立たない訳がありません。講義内容は、AP研でこれまで何年もかけて開発・改善してきたものです。自信をもってお勧めいたします。初学者の方以外でも、基本を確認し、関連知識を広げるとともに自分の知識の穴にパッチをあてる、そんな目的にも最適です。以下の要領で開催します。詳細はAP研HPをご参照下さい。

【日時】 2017/4/26(水)・27(木) 9:30~17:00

【会場】 東京工業大学

【内容(講師)】 電磁気学の基礎(東北大 陳強先生)、伝送線路の基礎(新潟大 石井望先生)、アンテナの基礎(千葉工大 長敬三先生)、基礎的伝搬と移動伝搬の基礎(新潟大 山田寛喜先生)

【参加費】 [一般] 会員:10,000円 非会員:12,000円 [学生] 会員:2,500円 非会員:3,500円

【受講申込受付期間】 2017/3/31(金)~4/14(金)

【受講申込方法】 AP研HPからお申し込み下さい <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

【問合せ先】 総務担当幹事 有馬卓司(東京農工大) E-mail: [t-arima@cc.tuat.ac.jp](mailto:t-arima@cc.tuat.ac.jp)

#### 【5】2017年総合大会・今後のAP研のご案内

2017年の総合大会は、来週3/22(水)~25(土)の4日間、愛知県名古屋市の名城大学で開催されます。23(木)にAP分野の12名の中堅研究者によるアラカルトセッション(13:15~16:45 会場: N322)、24(金)には「多様化するアンテナ測定技術に関する最新研究動向」と題したシンポジウムセッション(13:00~17:00 同 N323)が、それぞれ開催されます。皆様、奮ってご参加ください。

続いてAP研の開催予定です。4月は20(木)・21(金)に大阪大学で開催します。大阪大学の真田先生による「メタマテリアルと透明マント」と題したチュートリアル講演の実施を予定しています。5月は18(木)・19(金)に宮崎県のホテルメリージュにて、6月は8(木)に機械振興会館にて、開催します。それぞれ詳細についてはAP研HPをご参照下さい。AP研の発表申込締切は開催月の2か月前の10日です。ご投稿をお待ちしています。

#### 【6】副委員長の戯言

技報年間購読をされている方には1月頃に来年度の購読申込書が届いていると思います。そこに来年度の技報の年間登録・年間購読・技報アーカイブについての説明が付いてました。AP研や研専運営会議のHPにも説明が載ってます。が、正直わかりづらいと思います。そこで、研専運営会議にも出ているAP研副委員長による『来年度の技報はこうなる!! 超簡単4行まとめ』です。

1. 通りの技報冊子体は来年度は印刷されますが再来年度はなくなります。会場には冊子体はありません。
2. 来年度は年間購読に技報アーカイブがついてきます。過去を含めて通リ全ての研専の技報が読めます。
3. 年間登録では過去年度の技報は読めません。技報アーカイブで新規技報を読めるのは開催の一月後です。
4. (筆者の独断です)私のお勧めは、来年度に限っては、AP研への年間登録とAP研技報年間購読の両方です。これ最強!! (最強と言えば、宇都宮餃子とビールの組み合わせも最強だった。脱線してますが。( ^ ^ )

#### 〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 岩井誠人(同志社大)

E-mail: [ap\\_ac-chair@mail.ieice.org](mailto:ap_ac-chair@mail.ieice.org) (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives: <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

